

兒玉 真実 (第4期生)

神戸百年記念病院 臨床検査技師

私は、2009年3月に鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻修士課程を修了しました。現在は神戸の病院で新米検査技師として働いています。

大学院では、遺伝子に興味があったことから成瀬研究室に所属していました。いろいろ考えた結果、研究職の道には進みませんでした。物の捉え方や自分で考え行動することの大切さなど、働く上でも必要なことをたくさん学びました。

働き始めてから半年経ちましたが、生化、血清(免疫・輸血)を経て、現在は一般検査を担当しています。環境が目まぐるしく変わる中、仕事に慣れることに必死で正直しんどいことの方が多いです。ですが、日に日にできることが多くなること、エコーなど新しい分野を学べることの楽しさもあります。自分で考え、学び、行動しなければ、知識も技術も向上しないので、毎日が勉強です。もちろん、そんな日々の中には同期との飲み会もかせませません。

検査結果が患者さんの状態を左右するというプレッシャーに負けそうになりますが、検査技師の仕事はとてもやりがいのあるものだ実感しています。